

山辺・県北西部広域環境衛生組合新ごみ処理施設建設に係る環境影響評価準備書
 審査部会における意見概要、事業者の見解及び部会報告(案)

1. 大気質

番号	意見者	該当頁	意見	事業者見解	部会報告(案)
			なし		

2. 騒音・振動・低周波音

番号	意見者	該当頁	意見	事業者見解	部会報告(案)
			なし		

3. 水質

番号	意見者	該当頁	意見	事業者見解	部会報告(案)
			なし		

4. 動物・植物・生態系

番号	意見者	該当頁	意見	事業者見解	部会報告(案)
			なし		

5. 景観

番号	意見者	該当頁	意見	事業者見解	部会報告(案)
			なし		

6. 廃棄物等

番号	意見者	該当頁	意見	事業者見解	部会報告(案)
1	山田委員	560-561	表 7.13-6 に施設の稼働により発生する廃棄物とその量の予測結果が示されているが、これは、組合を構成する各市町村が現在行っているごみ処理で発生させている廃棄物に比べてどのように改善されることになるのか、総量は、どの程度減少、あるいは増加することになるのか。 それらのことも考慮して本事業の評価をしてほしい。	平成 28 年 12 月組合で策定した「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」では、焼却灰及び飛灰の発生量は、平成 27 年度ベースで約 11,113t/年となります。 準備書の表 7.13-6 に示す焼却灰及び飛灰の発生量は、7,476~9,599 t/年ですので、約 10~30%の削減となる見込みです。 評価書において、これらの概要を整理して追記します。	